

第20回「つるみ村」 たなばた祭りを開きました



「つるみ村」は、毎年、コープおおさか病院、大阪障害者支援センターつるみ、社会福祉法人椿福祉会の共催で「つるみ村」という名称で、「七夕祭り」と「クリスマス会」を開いています。今回で二十回目となりました。

今年の「七夕祭り」七月五日に開催。ロビーでは、作業所等のお店とともに、みなさんが作成された様々な作品が展示もされました。

れました。

先着100名のアイスクリンのプレゼントも好評でした。舞台では「つるみ厚生指導所」「サインはV」「ぼぼろ青年ボランティア」の歌やギター演奏とボランティアアサークルやすらぎさんの盆踊りが繰り広げられ、病院職員、看護学生で結成された「上を向いて歩こう隊」の合奏がありました。

梅雨の晴れ間のひととき、地域の方と障がい者の方、みんなで楽しく過ごすことができました。

七夕の短冊に込められたみんなが安心して暮らせる街への願いがかなえられることを祈っています。



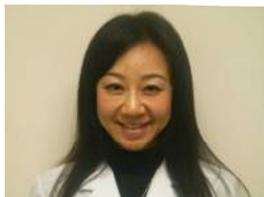
病院医療機能評価 再受審しました

コープおおさか病院は、八月二十五、二十六日に三回目となる「医療機能評価」を受審しました。

今回の機能評価審査基準は「3rd G・Ver1」といわれるもので、「一般病院1」と「リハビリ（回復期）追加機能」での受審となりました。日常的にはISO9001品質管理システムを運用しながら業務に当たっていますが、診療のプロセス等にかかわっては、医療の専門家の目での評価が重要です。

医療機能評価機構からは、中間評価で欠点無しの評価を頂きましたが、よりよい医療の提供目指して、一層の改善、前進をすすめます。

新常勤医師紹介 眼科 中谷 倫子医師



十月十四日から、眼科に中谷倫子医師が常勤医として勤務を開始しました。

中谷医師は、大阪市立大学医学部卒業後眼科医としての経験を積み重ね、今回コープ

おおさか病院眼科勤務となりました。

当面、外来が中心となりますが、年内には白内障手術を開始する予定です。

一年以上眼科常勤医がない状況でご迷惑をおかけしましたが、今後ともよろしく御願います。

	月	火	水	木	金	土
午前	坂口	中谷	元	中谷	中谷	非常勤
午後			中谷		中谷	

午後診は、検査等で完全予約です。

コープおおさか病院

診察、入院等 利用のご案内

いつも入院や検査等でのご紹介をいただきありがとうございます。
コープおおさか病院は、これからも患者さまの身近な病院として、また地域の医療機関の一員として、ともに歩み、患者の立場に立つ医療の実践にとめていきます。入院や診察、検査等については、地域連携室に御連絡いただきますようお願いいたします。

診察、検査の依頼について

■当院で受入可能な診療

- 泌尿器科外来 糖尿病外来 リウマチ外来
消化器内科外来 ボトックス外来 眼科外来
いびき外来 外科・肛門科 禁煙外来
- ①なお、その他の診療科は非常勤医師で診察しています。予約は可能ですが、非常勤医師である旨ご了解下さい。
- ②身体障害者（四肢等）手帳申請のための外来を実施しています。詳しくは医療相談室に御連絡下さい。

■下部消化管内視鏡検査及び前泊入院について

当院では、下部消化管内視鏡検査を実施しています。事前の処置等も考慮して、高齢者の方には前泊入院も行っています。また高齢者の方でポリプ切除を行った場合は、前泊入院の方はもう一晚入院していただいで様子を観察することも行っています。

こうした下部消化管内視鏡（前泊含む）は、一度当院の医師の診察を受けて頂き、説明と同意、処置の仕方の説明を行っています。具体的なお問い合わせは地域連携室まで御連絡下さい。

■当院で実施している入院検査（短期入院検査）

- 大腸カメラ前泊入院 終夜睡眠ポリグラフ
前立腺生検 嚥下評価入院
胃瘻造設及び胃瘻の交換

■糖尿病教育入院

八月と一月を除く毎月、糖尿病教育入院を実施しています。教育入院期間は9日間で、原則や曜日入院 翌週水曜日退院、土曜日は外泊となります。

■当院で実施している処置や手術

コープおおさか病院は、ESD ECRP、ERBD、ラパタン等の手術（処置）や、消化器、痔、鼠径ヘルニア等の手術、ESWL膀胱がん手術、抗ガン剤治療など積極的に取り組んでいます。

■外来診察等の予約方法

- ①「診察等予約申込書」にご記入頂き「診療情報提供書」とともに、当院地域連携室にFAX（06-6914-1136）下さい。なお、夜間の場合は、FAXで送付していただければ、翌朝一番に連絡させていただきます。
- ②地域連携室では、予約等の作業を行い、依頼医療機関さま宛に、患者さまにお渡し頂く「予約票」をFAXいたします。
- ③「診察等予約申込書」はご連絡いただければ送付いたします。またホームページから「ダウンロード」していただけます。

救急入院等、入院にかかる件について

- 直接地域連携室の御連絡下さい。
- ※但し、夜間（午後五時～翌朝九時まで）は、代表電話に
- 火曜日、木曜日は救急指定日です。
- 午前、午後、夜間を通して「救急外来」で対応いたします。
- 地域包括ケア病床への問合せは、地域連携室まで。

これらのご利用についての詳細は、地域医療連携室にお問い合わせ下さい。また、診療情報提供書、予約申込書等はコープおおさか病院・ホームページ「地域連携室」に添付ファイルで準備しています。ご利用下さい。

コープおおさか病院は、毎月医療講座を開催しています！

7月 認知症を防ごう



永田保健師を講師に開催した「認知症を防ぐ」というテーマの医療講座。今回の話しの中心は体操を取り込んで、認知症を予防しようというものでした。参加者の皆さんに実際に体を動かしていただくトレーニング、「グーチョキパー」「グーパー体操」「二人じゃいけん」「あいうべ体操」等を行ったあとは「スクエアステップ」。

「スクエアステップ」は、高齢者の転倒予防、要介護化予防、認知機能向上、成人の生活習慣病予防などを目的に国立大学等の教員が連携して開発されました。和気あいあい度皆楽しんで（苦しんで？）おられました。



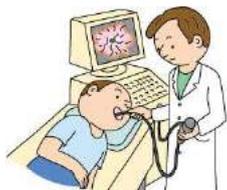
9月 「ピロリ菌の話」で三谷副院長



九月のテーマは、「ピロリ菌」でした。講師は消化器内科の三谷副院長。話しは、①ピロリ菌とはどんな菌なのか、②ピロリ菌と胃やその他の病気との関係、③除菌の方法やABC健診などにも話しが及びました。

参加された皆さんからは、「一度で除菌できなかったらどうするか」「除菌は健康保険で出るのか」「除菌は健康保険で出るのか」

「除菌は健康保険で出るのか」「除菌は健康保険で出るのか」など、いろいろな質問がだされ、予定の「時間はあっという間に過ぎ去っていききました」



10月 これから防ごう

骨粗鬆症

「骨粗鬆症」って、やっぱり皆さんの関心が高いんですね。五十名近い方で会場いっぱい。講師は、松本管理栄養士と森原健康運動指導士（インストラクター）でした。企画は、運動と食事の両面から骨粗鬆症を防ぐ努力を促す内容としました。

カルシウムやビタミンDやKの話しとともに、実際のレシピも紹介。ウォーキングや運動の話しでは、シューズの選び方や理想的な歩き方までのお話となりました。

最後は、手製の健康ジュースも出て、有意義なひとときでした。



全力

大腸ガンゼロキャンペーン

コープおおさか病院・ヘルスコープおおさかは、毎年十一月から大腸がん検診（便潜血検査）に取り組みます。多くの医療機関や行政も取り組んでおられますが、鶴見区での実施率は十五%程度です。

大腸ガンは、早期に発見すれば治療が可能な疾患です。「大腸ガンで苦しむ人を、亡くなる人を」なくしたいと、「大腸ガンゼロキャンペーン」を展開します。

医療講座 11月企画 大腸ガンを学ぶ

日時 11月8日(火) 午後2時～3時
 場所 コープおおさか病院大会議室(健診棟二階)
 講師 藤本 正明医師(コープおおさか病院外科)
 地域のみなさん対象の学習会として開催します。無料、予約不要です。

回復期リハ病棟で

「元気まつり」開催



い参加と盛り上がりました。

回復期病棟デイルームでは屋台、たこ焼き、ヨーヨー、水玉すくい、射的とコーヒーゼリーで楽しみ、一階ロビーでは競技種目が行われ、シートでのボール運びや玉入れ、元気棒などを取り組みました。

リウマチのある方が自分で工夫してシートを持って奮闘、玉入れではリクライニングシートに座っている方も参加されました。射的では、患者さまが店番をかってでる一幕もありました。

「元気まつり」は、「お花見会」「クリスマス」と並ぶ回復期リハ三大行事の一つです。こうした取り組みを通して、患者さまが喜び合い、生きる希望が生まれればとスタッフ一同準備をしてきました。さあ、次はクリスマス会です。

10月4日(土)、コープおおさか病院では、回復期リハ病棟の恒例となった「第五回元気まつり」を、医師、看護師、リハスタッフと一緒に入院患者さまとともに開催しました。またボランティアアサークルやすらぎ会の皆さんにもお手伝いいただき、参加者はスタッフを含め百名近



コープおおさか病院 地域連携室

業務時間

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
土曜日 午前9時～午後1時

電話 06-6914-1126

FAX 06-6914-1136

コープおおさか病院地域連携室は、地域の病院・診療所の連携の窓口として、入院の受入、転院の調整、検査や診療の予約業務を行っています。

また、介護保険の相談、在宅医療の相談や無料低額診療の取り扱いも医療相談室とともにおこなっています。

災害の時に 何をするのか

マニュアルも含めて
対応学習会



5月27日(火)、健診センターの新しい会議室で消防司令地域担当の鶴見消防署員を講師に「災害対策学習会」を開きました。

医師をはじめ各職場から55名が参加。高い確率で起こるとされる地震、津波対策についてDVDを観ながら学習、その後、コープおおさか病院の「災害医療マニュアル」について第1外来師長より説明がありました。

消防署員からは、知識やチェックリストだけではだめで、「どうすれば命を守るか、どう逃げるか」必ず大震災が起こると想定して考えておくことが大切だと教えてもらいました。

「災害医療マニュアル」を完成し、大規模災害の訓練も行うこととなります。いざというときのために、備えを確実にしておきたいと思います。